

2025 年度 事業報告

施設名 幼保連携型認定こども園 みどり野保育園

施設長名 中田 一夫
 種別 保育所
 設立 1979年 4月
 認可 2022年 4月1日 認可

2026.4 作成

*2025 年度事業計画に対する評価

2025 年度は 0 歳児入所が年間通して 2 名であった。尼崎市全体でも待機児童近年一桁となった。少子化、育児休業の定着、新規園の創設など益々入所児童が減少していくことが予想され安定した経営を維持していくことが難しくなりつつあるが 2025 年度から 1 号認定定員を 6 名から 9 名に変更し、充足させた。

待機児童減少にあっても子育てに不安抱える家庭や発達特性を持つこどもの受け入れニーズは根強く存在する。現在の異年齢保育や発達特性を持つこどもへの保育の充実に加え、保育ソーシャルワークの質的向上が必須となっている。

また、ベトナム、中国など外国籍のこどもが少しずつ増えてきているため、外国語支援が必要となってきた。

尼崎教会の榊田牧師には今年度も毎週金曜の礼拝を守っていただいた。教会のバザーと当園の秋祭りを合同開催の 2 回目を実施することができた。今後も継続予定である。協働している教会のこども食堂も 4 年目に入った。

- 「理念」：2025 年度の年間聖句及び年主題も昨年と同様、保育士全員で考えた。理念に基づく保育実践を意識し共に研鑽に励んだ。
- 「人材」：年度途中で正規職員が 1 名退職したことは痛恨の極みで、職員育成の難しさを改めて考えさせられた。2026 年度から副園長、主幹保育教諭の交代の計画を立て職員のチームワークを強化する準備をした。
- 「施設・環境」：地域のみどり野緑化委員会と共に園庭、隣接する公園に毎年、花が咲き誇るようになり、地域の注目されるようになってきた。環境美装化を意識化する研修も設けた。2026 年度は面談室、倉庫のリニューアルを計画した。
- 「保育」：環境整備が進み、担当保育、異年齢保育は安定しているが、発達特性のあるこどもへの対応に、年々保育士の資質が向上しているが、小学校への円滑な引継ぎについて教育委員会と継続的に協議を行っている。
- 「経営」：年間通して定員 69 名に対して平均 68.9 名で推移し 1 号認定の増加や療育加算が加わり 2,700 万円の積立を行った。

1. 事業運営の概況

園児定員	クラス数	保育時間			
		通常保育	早朝保育	延長保育	休日保育
66 (内 1 号 6)	4	7:00~18:00	なし	18:00~19:00	なし

2. 保育実績

① 在籍園児数

月	保育 日数	在 籍 園 児 数							障害児・一時・休日・特例保育等の 1 日平均利用人数
		0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計	
4	25	2	11	12	18	16	12	71	療育加算対象児：13 名 一時保育利用児：実施していない 休日保育利用児：実施していない 延長保育利用児：平均 4 名
5	23	2	11	12	18	16	12	71	
6	25	2	11	12	18	16	12	71	
7	26	2	11	12	18	16	11	70	
8	26	2	11	12	19	16	11	71	
9	24	2	11	12	18	16	11	70	
10	26	2	11	12	18	16	11	70	
11	24	2	11	12	18	16	11	70	
12	24	2	11	12	18	16	11	70	
1	23	2	11	12	18	16	11	70	
2	22	2	11	12	18	15	11	69	
3	25	2	9	12	17	15	9	64	

計	293	24	130	144	216	190	133	837	
(結果) 1) 2025年度の年間の延べ在園児数が847名に対して2025年度は837名と若干減 2) 療育加算対象児が13名在園(昨年度16名) 3) 延長保育利用者4名(昨年度3名)									

② 職員構成(年度末時点、上段に実数、下段に最低基準を記入)

常勤職員							非常勤職員					合計
施設長	副園長	主幹教諭	保育教諭	調理員	事務員	計	保育士		その他		計	
							常勤並	短時間	調理員	事務員		
1	1	2	10	(1)	1	15	1	3	(3)	0	4	19
1	1	2	7	1		12						
(結果) 8月より産休1名。11月末で正規職員1名退職があったが、9月より1名中途採用をし、カバーすることができた。 * () 調理員は委託先職員数												

3. 園児の処遇実績

イ) 健康管理

定期健康診断			測定・検査など		
診療科	実施月日	備考	内容	実施月日	備考
内科	5月21日、10月24日		身体測定	毎月1回	
歯科	5月22日		尿検査	なし	
眼科	6月18日		予防接種	なし	
耳鼻科	6月24日		その他	なし	

ロ) 栄養管理(食事・おやつ)の取組み

- 2025年度に一富士フードサービス(株)と委託費がUPしたが給食費の値上げは実施しなかった。
- 給食だよりをさらに充実させ食育等の啓発に努めた。(毎月1回)
- 給食会議を定期的に開催し、園行事などの協力関係は安定している。
(イースター、クッキング、収穫感謝、もちつき、など)

ハ) 年間行事

月	実施内容	保護者会活動
4	入園説明会、イースター礼拝	役員会
5	4・5歳児親子遠足(甲子園浜へ磯遊び)創立記念日、個人懇談 県立尼崎高校との交流(幼児)、エコロコ自然体験(水のふしぎ)	書面での総会
6	花の日礼拝、歯磨き指導、	役員会
7	プール開き すいか割り、交通安全指導、総合防災訓練	
8	プール遊び、	
9	5歳児キャンプ、中央中学トライやるウィーク受け入れ	
10	運動会 芋掘り遠足(4・5歳児) 芋ほり体験(2・3歳児親子遠足) 5歳児個人懇談、かめ親子触れ合い会	運動会の参加賞配布、役員会
11	収穫感謝礼拝、秋祭りバザー(教会と協働)、焼き芋パーティー、 総合防災訓練、	秋祭りバザー
12	アドベント礼拝、クリスマス会、	クリスマスプレゼント配布
1	5歳児「廃線ハイク」、もちつき、5歳児小学校巡り、0~4歳児個人懇談	
2	就学前合宿保育、新入児面接、豆まき、幼児親子デイ	役員会(新役員の選出)
3	お別れ会 卒園式	卒園児へのプレゼント配布 保護者会から寄付あり
<毎月の行事> 幼児グループ礼拝(毎週)、身体測定、幼児おべんとう、誕生会、避難訓練、 コスモ運動遊び月2回(3,4,5歳児)、音楽リズム遊び月2回(幼児グループ)		
<結果と考察> キャンプは猛暑を避け9月上旬に実施。生活発表会からこどもの主体性を重んじた幼児親子デイを開催。 2024年度から尼崎教会との共催で、秋祭りバザーが開催を始めたが2025年度も継続できた。		

ニ) 安全管理

火災	・7月1日、11月18日総合防災訓練実施 消防用設備点検年2回
地震	・地震想定避難訓練 ・防災関連緊急連絡のためメールの一斉配信ができる体制にある。

津波・浸水	・津波想定での避難訓練 避難場所の確認
防 犯	・不審者想定での避難を職員で共有 ・玄関オートロック・夜間侵入警戒センサー
衛 生	・各クラスに加湿・空気清浄器 乳幼児トイレにペーパータオル（フォルダーを設置） 防虫除虫消毒年2回実施 ・コロナ及びインフルエンザ感染予防の為アルコール消毒液の配置
防災備品	○各クラスに非常用持ち出しリュック配備、○事務所に置き型ライト（乾電池） ○乳児保育室に液体ミルク（24×3 ケース）、使い捨て哺乳瓶（5×3） ○屋上に防災備品保管用倉庫設置 ・置き型ライト、懐中電灯・水用堀ポリタンク（200×2）・水（20×18本） ・非常食（3日分、米、ビスコ他）・紙コップ（40個）使い捨ておわん（50個） ・ビニール袋、手袋、ウエットシート、ラップ ・ポータブル投光器・ソーラーは圧電気、カセットボンベ発電機、トイレ凝固剤 ・紙パンツ・ベットシート、拡声器 ○園庭に乳児用避難車、おんぶ紐 ○その他、アクアリブ（消毒液）、AED、寝袋、斧、鉋、バール
救急講習会	新人2名受講（窪田、大村）

ホ) 賠償保険等の加入状況（利用者対象）

保険種別	会社・団体名	補償内容（金額）
施設賠償責任保険	全国私立保育園連盟	対人1名10億円 対物1事故1,000万円 死亡共済付 保育者賠償責任特約付
園児団体傷害保険	全国私立保育園連盟	死亡・後遺障害215万円 入院2,250円 通院1,500円
災害共済	日本スポーツ振興センター	負傷、疾病（医療費の療養に要する費用の4/10） 後遺障害見舞金（88万円～4,000万円） 死亡（最大3,000万円）
火災保険	あいおいニッセイ同和損保	建物1億円 備品・計器類1,000万円
行事参加者傷害保険	AIG損害保険	死亡・後遺障害3,501千円 入院4,500円 通院3,000円

4. 職員処遇の実績

イ) 職員の健康管理

- 1) 定期健康診断 年1回、検診内容（胸部X線、血液検査、血圧、尿、心電図、問診他）
- 2) 検便：栄養士・調理員 年24回、保育士（乳児 - かめぐみ0・1歳担当） 年12回
- 3) インフルエンザ予防接種 奨励のみで義務化はしていない。接種費用を全額園負担

ロ) 労務管理

- 1) 1ヶ月単位での変形労働制が定着している。
- 2) 6月に夏季賞与（1.1ヶ月＋人勸1ヶ月）、12月に冬季賞与（1.2ヶ月＋人勸1ヶ月）を支給（人勸は2024年分10.7%）
- 3) 処遇改善Ⅰは期末に1.66ヶ月一括で支給。加えて、期末賞与2.0ヶ月を追加支給。
- 4) 有給取得はすべて職員が5日以上消化した。

ハ) 職員会議（高齢除く）

内容	実施回数（開催時間）
職員会議 運営全般 行事計画反省等	月1回（2時間）
乳児（各クラス かめ・ぺんぎん）・幼児担当者会	月1回（1時間）
保育士ミーティング	月1回（2時間）
給食担当者会	月1回（30分）
リーダー会	週1回（90分）

ニ) 研修実績（イエス団含む）

No.	研修名	主催者	研修内容	開催時期	参加者
1	神戸コダアイ研究会	神戸コダアイ	乳児保育 初心者	5/10～全4回	高橋
2	保育士研修	尼崎西ロータリークラブ	保育士が働きやすい職場風土づくり	5/15～全6回	安藝

3	保育所職員専門研修	尼崎市こども青少年局	就学に向けての保育・気になる幼児の理解と支援について	5/20	中村
4	新任保育士研修	日本キリスト教保育所同盟	新任保育士研修会	5/21	高橋
5	神戸コダーイ研究会	神戸コダーイ	環境認識と数字・経験者向け	5/27～全6回	安藝
6	神戸コダーイ研究会	神戸コダーイ	環境認識と数字・経験者向け	5/27～全6回	安藝
7	研修会	兵庫キリスト教保育園協議会	新任職員研修会	5/31	高橋、(中田)
8	フォローアップ研修	尼崎市こども青少年局	「子どもの人権を大切にする保育」～子どもの気持ちや願いに心を寄せて～	5/30	難波
9	神戸コダーイ研究会	神戸コダーイ	公開保育（園和北保育園）	6/13	難波
10	職員研修	兵庫キリスト教保育園協議会	讚美歌研修	6/20	窪田
11	保育所職員専門研修	尼崎市こども青少年局	運動遊びで育む”こころ”と”からだ”	6/24	不破
12	尼崎市保育士等キャリアアップ研修	保健福祉振興財団	保護者支援・子育て支援	6/28、7/19	中村、難波
13	災害対策	尼崎法人保育園会		6/6	鈴木
14	神戸コダーイ研究会	神戸コダーイ	公開保育（猪名の森保育園）	7/1	金沢
15	尼崎市保育士等キャリアアップ研修	保健福祉振興財団	食育・アレルギー対応	7/12、9/20	不破
16	夏季保育大学 in 愛媛	日本キリスト教保育所同盟		8/27～8/29	長谷川
17	施設支援講座	尼崎市立たじかの園	子どもの気持ちをちょっとのぞいてみよう～OTの視点から～	9/11	長谷川
18	施設長研修	イエス団	ミッション実現にむけた事業計画と予算策定	9/25	(田中)
19	施設支援講座	尼崎市立たじかの園	乳幼児期のことばの発達を促す関わり	9/4	難波
20	尼崎市保育士等キャリアアップ研修	保健福祉振興財団	乳児保育①	9/6、9/13	長谷川、高橋
21	全体研修	尼崎法人保育園会	あそび歌	9/8	保育士
22	神戸コダーイ研究会	神戸コダーイ	公開保育（子ロバ乳児園）	10/10	高橋
23	オンライン研修講座	チャイルド	保育が変わる子どもの見方	10/14	保育士
24	尼崎市保育士等キャリアアップ研修	保健福祉振興財団	乳児保育②	11/1、11/22	鈴木
25	保育所職員専門研修	尼崎市こども青少年局	不適切な養育を疑われる子どもやその保護者への支援について	11/10	鈴木
26	キャリアアップ研修	兵庫県保育協会	副主任保育士マネジメント研修会	11/12	安藝
27	職員研修	兵庫キリスト教保育園協議会	クリスマスの本質的な意味を学ぶ	11/13	金沢
28	リーダーシップ研究ゼミ	日本キリスト教社会事業同盟	リーダーシップ研究ゼミ	11/13～11/15	(中田)、増本
29	施設支援講座	三田谷治療教育院	スモールステップで教えよう～援助の段階と指示の出し方～	11/28	高橋
30	2025 秋の絵本講座	姫路こどものとも社	絵本のたのしみと読み聞かせの役割	11/29	小島
31	施設支援講座	三田谷治療教育院	困った行動へのかかわりを考える～行動を分析し適切な行動に導く	12/12	長谷川

			ために～		
32	幼保小連携推進事業に係る全体研修会	尼崎市教育委員会事務局	兵庫教育大学大学院幼年教育・発達支援コース	12/12	小島
33	オンライン研修講座	チャイルド	子どもと良好な関係を築くための言葉かけ～保育者の想いの伝え方～	12/15	大村、高橋
34	オンライン研修講座	チャイルド	困った保護者・非常識クレーマー対応	1/22	安藝、不破
35	幼保小連携推進事業に係る公開保育	尼崎市就学前教育課	5歳児公開保育	1/29、1/30	安藝、不破
36	幼保小連携推進事業に係る情報交換会	尼崎市教育委員会事務局	幼保小の架け橋プログラム等について	2/26	小島
37	いくしあ講演会	尼崎市こども青少年局	子どもの不器用さ・発達性協調運動障害	2/5	安藝
38	新任職員研修	イエス団本部	新任職員研修	3/24～3/25	福留、別宮
39	新任保育士のための乳児保育研修	神戸コダニー	新任保育士のための乳児保育研修	3/7	別宮
※()以外は保育士					
<p><結果と考察> 2023年度から処遇改善Ⅱに関してはキャリアアップ研修受講が必須となっているため、引き続き意識的に受講を促した。各自でキャリアシート作成しているので過不足なく研修受講を進めている。</p>					

ホ) 福利厚生<退職共済制度(機構・府県・市)、福利厚生制度等>

- ・社会福祉施設職員等退職手当共済制度(福祉医療機構)
- ・労基法の改正に基づく就業規則の変更は随時行った。
- ・業務災害総合保険(AIG損害保険): 死亡・後遺障害 1,000万円 入院 5000円/日 通院 3,000円/日

5. 子育て支援・地域との交流の報告

月	子育て支援センター	月	地域交流との交流
4		4	尼崎教会こども食堂「マンナ」(毎月第4土曜)
5	子育て相談を随時受付、園見学を随時受付	5	県立尼崎高校「教育と絆」幼児と学生の交流
6	〃	6	花の日にちなみ、園医さんに花を届ける みどり野花まち委員会による苗植え
7	〃	7	
8	〃	8	
9	〃	9	尼崎市立中央中学校トライやるウィーク
10	〃	10	難波の梅フェスティバル、 あまっこ交流会に参加(5歳児)
11	〃	11	秋祭りバザーに参加、 みどり野花まち委員会による苗植え
12	〃	12	教会でのクリスマス会
1	〃	1	もちつき(園児のみ)、 教育委員会主催竹谷地公開保育の実施
2	〃	2	難波の梅小学校見学(5歳児)
3	〃	3	
<p>その他 ・「阪神特別支援学校」2回、「いくしあ」 ・園見学を随時</p>			

6. 施設・設備の整備の実績(項目、金額、実施月等、10万以上記載)

整備名称	金額	勘定科目	財源	実施月
遮熱フィルム工事(三田工務店)	968,000円	器具及び備品	給付費	7月
園庭U字溝設置工事(こどもみらい)	160,600円	構築物	給付費	9月
ままごとセット(ナガサワ)	610,500円	器具及び備品	給付費	1月
小計	1,739,100円			

7. 会計決算の状況

1) 主な収入

事業活動収入 158,543 千円 (昨年度 143,475 千円) 1,506 千円増

<内、障がい児保育事業補助金 1,182 千円 (昨年度 13,826 千円) 1,964 千円減したものの

人勸 up 分 (5.3%) 5,285 千円に加え、1号定員を6名から9名に変更したことが、収入増加に繋がった。

2) 主な支出

人件費支出 99,916 千円 (昨年度 93,572 千円) 6,389 千円増 (本俸を平均7%UPした結果)

業務委託費 11,203 千円 (昨年度 9,811 千円) 1,392 千円増 (一富士業務委託費の値上げによる)

研修費 499 千円 (昨年度 739 千円) 240 千円減

固定資産取得 1,739 千円 (昨年度 1,050 千円) 689 千円増 (遮熱フィルム他)

3) 収支差

年間を通して定員66名に対して約70名を推移。0歳児も定員6名に対し2名であったが、障がい児保育事業補助金対象が13名、1号認定6名定員を9名に変更し給付費が増えた。また、人勸5.3%upなどの収入も増えた。

事業活動収支が31,016千円(昨年25,461千円)あった。昨年より5,555千円増。人勸UPを含め、人件費が膨らんだが保育事業収入も相当分増えた。結果、27,000千円を保育所施設・施設整備に積立てを行った。結果、当期末資金収支差額は512千円となった。

8. その他

1) 幼保連携型認定こども園への移行4年間目、1号認定定員は9名にし、充足させた。

2) 外部評価の必要性を感じていたため「施設関係者評価」をよい子ネットを利用し今年も行った。

概ね高評価であったが、回答率が低かった。その結果をHPに掲載した。

3) 新卒1名を採用したが、2年目の正規職員1名が年度途中で退職した。産休に入る職員もいたが、1名を途中採用しなんとか乗り切った。